

## 第183回 全経簿記検定試験 上級 一原価計算一

## 模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

## 問題1【丸数字は予想配点、合計58点】

問1 [ 3.24 ⑥ ] 年

問2 第1年度 [ 900,000 ] 円 第2年度 [ 1,200,000 ] 円②

第3年度 [ 2,700,000 ] 円 ② 第4年度 [ 3,000,000 ] 円

問3 [ 8.13 ] % ⑥

問4 第1年度 [ 12,900,000 ] 円 ② 第2年度 [ 13,200,000 ] 円②

第3年度 [ 14,700,000 ] 円 ② 第4年度 [ 15,000,000 ] 円

## 問5

(1) [ 3.48 ] 年 ⑥

(2) [ 3.89 ] 年 ⑥

問6 [ 6.13 ] % ⑥

問7 [ 1,296,720 ] 円 ⑥

## 問8

(1) [ 3,468,360 ] 円 ⑥

(2) [  $\Delta 2,517,840$  ] 円 ⑥

問題2〔丸数字は予想配点、合計42点〕

- 問1 (ア) [ 9.5 ] % ⑥
- (イ) [ 11.1 ] % ⑥
- (ウ) [ 14,720,000 ] 円 ⑥
- (エ) [ 9.1 ] % ⑥
- (オ) [ 10.8 ] % ⑥

問2

「事業部自体を評価するための投資利益率」の基礎となる考え方

---

事業部自体を評価するためには、損益及び投資額が、事業部に跡付けられるか否かという、追跡可能性

を重視すべきである。 ⑥

---

「事業部長を評価するための投資利益率」の基礎となる考え方

---

事業部長を評価するためには、損益及び投資額が、事業部長にとって管理可能か否かという、管理可能

性を重視すべきである。 ⑥

---